

## テクノロジーを身近な生活へいかすこと

おすすめの本を紹介するはがきを送り合う「読書郵便」。従来は文章と絵のみであり、分かりやすく読み手に伝えるには限界があった。そこで、より具体的に伝える方法を話し合い、紹介動画をQRコードにしてはがきに貼付する「QR付き読書郵便」に取り組んだ。この実践を通してテクノロジーの力でより良い生活や学びを作っていくことができるということを体験を通して学んだ。

<5年 国語>

### ICT活用のポイント

動画を撮影する際には、何度もNGになり、うまくいかないことが多い。しかし、簡単にやり直すことができるのがPCの利点であり、事前に台本を準備するなど、主体的な活動になる。



撮影した動画（約30秒）



撮影の様子



QRコード付き読書郵便



配達の様子

### 各教科等の指導におけるICT活用の基本的な考え方

新学習指導要領に基づき、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するため、子供や学校等の実態に応じ、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、**主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげる**ことが重要。

#### 【留意点】

- **資質・能力の育成により効果的な場合に、ICTを活用する。**
- **限られた学習時間を効率的に運用する観点からも、ICTを活用する。**

### A 話すこと・聞くこと

自分たちの知りたいことを質問し、回答を集計して分かったことをクラスみんなに話して伝える活動において、「アンケートづくりと集計」「グラフづくり」「発表」の場面でICT機器を使うことが考えられます。

〈小4・調べて分かったことを話そう〉

04 朝ごはんは何時に食べますか？

5～6時

6～7時

7～8時

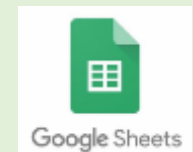
その他: \_\_\_\_\_

05 ご自宅をよく食べますか？

06 朝ご飯は、しっかりと食べていますか？



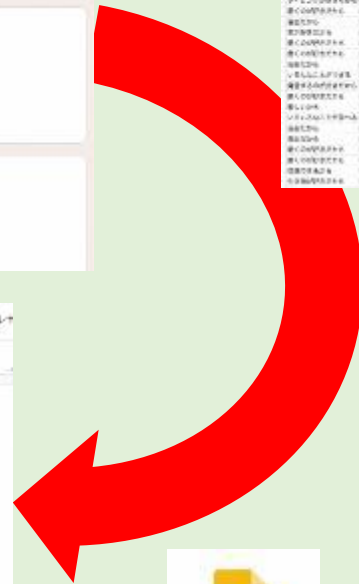
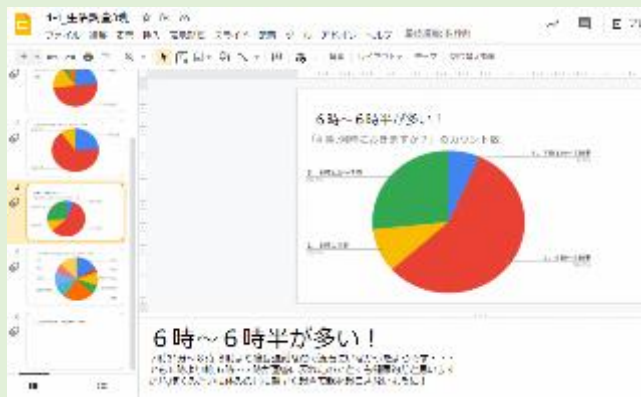
時間	人数
5時～6時半	5
6時半～7時	11
7時～8時	4
8時～9時	1
9時～10時	3
10時～11時	1
11時～12時	4



### ICT活用のポイント

- ①アンケートの作成→集計
  - ②そのグラフ化
  - ③スピーチ時の資料と台本づくり
- を1人1台PCで一元化できます

また、その作業を見童どうしや教師と見童で協働で進めることができます。



### C読むこと

### ○共有

児童が教科書の文章をどのように解釈しているかを一覧にして大型提示装置で拡大表示することで、他の児童の意見や感想を見比べ、クラス全体での交流の活性化へつなげることが可能となります。

〈小4・登場人物の変化を中心に読もう〉

#### ICT活用のポイント

- ・クイズ番組のように全児童の記述を[見える化]できます。
- ・ただ1人「会えない」と答えた児童に理由を訊きました。

その発言から、『おお!』『なるほどッ!!』と、クラスみんなで学びを深めていくことができました



初めてこのアプリを使った日の様子です

初めてにしてこのカラフルさ…

児童はすぐに使いこなしますね

### C 読むこと

### O 言語活動例

### ウ 学校図書館の利用

事典や図鑑などを読み、分かったことなどをまとめて説明する言語活動において、プレゼンテーション・ソフトにまとめさせることが考えられます。

<小4・興味をもったことを中心に紹介しよう>

#### ICT活用のポイント

・自分が興味をもった本を読んで終わり、ではなく「友達に説明する」というゴールがあることで、一生懸命に読んだり伝わるよう練習したり、編集したりする児童の姿が見られました。



～クラゲの知られざるひみつについて～

クラゲについて  
皆さん!



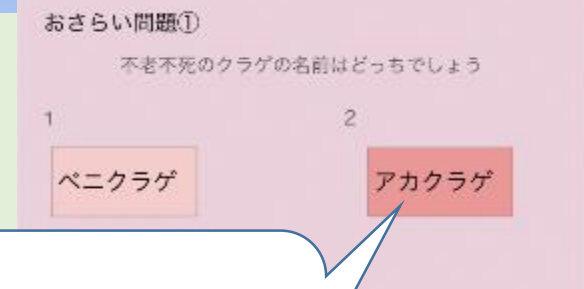
クラゲを  
くわしく知っていますか?



死にかけると若返るクラゲがいる!?



クラゲには脳や心臓がない!!



「はじめ・中・終わり」に分けることと、謎に迫る“鍵” or “秘密”を複数入れるの2つを[めあて]に挙げました。

最後にクイズをつくって、きちんと聞き手に伝わったかを尋ねる児童が多かったです。



### 自分のスピーチを客観視して、よりよい工夫を考えよう！

「どうすれば見ている人にもっとよく伝わるのかな？」を課題に、各自が作成したスライドを使ってスピーチしている様子を友達と二人一組になって動画撮影し、話し方や資料の提示の仕方を客観的に振り返らせます。

自分では「声を出しているつもり」や「ゆっくり話しているつもり」でも、実際に撮影したのを見ると、感覚との違いを実感し、より丁寧に伝えようとする姿が見られました。

<6年 国語「私たちにできること」>

#### ICT活用のポイント

クラウドを利用することで簡単に動画の保存・共有ができるので、何度も「ちょっと撮って」が可能です。また、動画に残すことで、いつでも何度でも見返すことができ、その都度、自分の成長を感じることができます。



個人のタブレットを使って発表練習



友だちとお互いに発表動画撮影



客観視して発表を改善

#### 各教科等の指導におけるICT活用の基本的な考え方

新学習指導要領に基づき、**資質・能力の三つの柱をバランスよく育成**するため、子供や学校等の実態に応じ、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、**教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげる**ことが重要。

#### 【留意点】

- 資質・能力の育成により効果的な場合に、ICTを活用する。
- 限られた学習時間を効率的に運用する観点からも、ICTを活用する。

### 共同編集で待ち時間なし！ 責任感が生まれてクオリティーもUP！

一人一台のタブレットを使って、共有したファイルを共同で編集していきます。以前は誰かが作業していた時は待ち時間になったり、別々で作ったものを後でつなぎ合わせたりと手間が多かったですが、それもなし！ 同じ時間で一緒に仕上げることができます。

またお互いの作業がリアルタイムで見られるので、友達のをヒントに自分のものをさらによくするもよし、友達のものにコメントしてより良いものに仕上げるのもよし、自然と対話が生まれます。

< 6年 国語「私たちにできること」>

#### 【活用場面例】

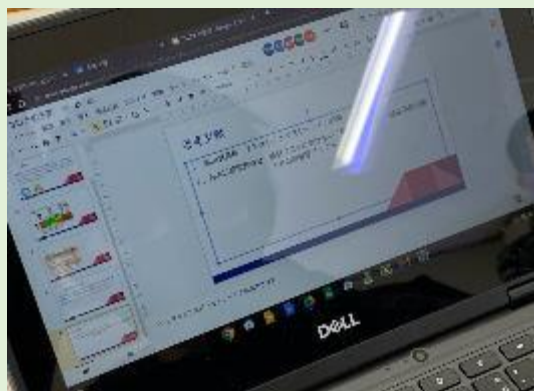
- ・「書くこと」領域のほぼ全単元
- ・「読むこと」領域の単元の、まとめや意見交流の場面(一つのファイルに意見を集約等) などなど

※「国語科」の活用事例としていますが、他教科でも十分活用可能です。特に「総合的な学習の時間」とは相性抜群です。

#### ICT活用のポイント

はじめに共有するファイルを作らせるところだけは、教師主導で行うか、事前に用意しておく、スムーズに作業に入れるのでおすすめです。

また、作業前に構成と分担をしっかりと済ませておくことも必須です。



自分のタブレットを使って共同編集



友だちのものを参考に(苦手な子も安心)



友だちのものにコメントして改善

### 内容理解度を把握し指導できます

Googleフォームを使い、一斉音読後に本文内容に関する問題を解かせました。「音読後に問題を解くこと」を伝えておくことで、意識して読んでいました。解答を分析し、結果が悪かった部分のみを、その時間に重点的に指導できました。

<第6学年 メディアと人間社会>

#### ICT活用のポイント

解答が瞬時に集計され、グラフにもなるので、どこが間違いやすいかを見童に示しながら指導できました。



解答を分析し、授業内で指導します

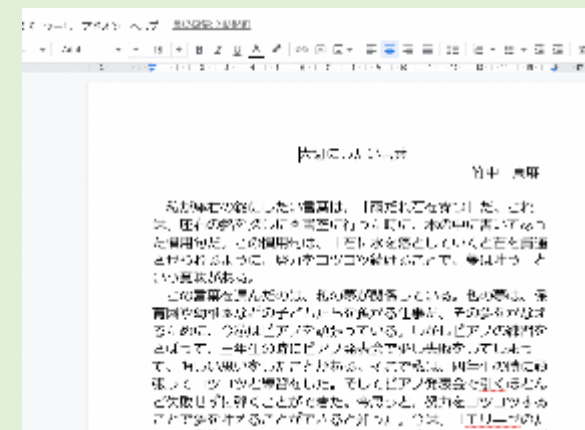
### 個人で文章を書き、読みあえます

書く単元で、Googleドキュメントを使った文章作成をさせました。共有スペースに保存することで、教師側が常に内容を確認し、アドバイスや添削をメモで残すなどの指導ができました。児童間で読み合い感想を伝えたり、参考にしている姿も見られました。

<第6学年 大切にしたい言葉>

#### ICT活用のポイント

ICTでの入力は手書きと異なり、「消す」「書き加える」ことが容易です。児童のタイピングの練習にも繋がります。



Googleドキュメントで文章作成

### 学習の目標からずれない板書を作成するために

「OneNote」を活用し、学級で出た意見をまとめて大型モニターで映し出します。毎時間同様の板書を映し出すことができることが、児童にとって視覚的に分かりやすく、思考が途切れにくいのです。 ※流れ・資料の提示の方法としてオンライン授業に活用しても有効です。

<小3 国語科「はんで意見をまとめよう」>

#### ICT活用のポイント

- ・候補の本を写真撮影してそのまま貼り付けることができるので視覚的支援になります。
- ・毎時間OneNoteに上書きしてまとめられるので、毎時間黒板を書き直す必要もなく授業準備の時間短縮にもなりました。
- ・学習計画の作成に有効です。

#### 国語 1年生に読み聞かせをしよう①

2020年10月30日 9:38

##### ①役わりを決める

司会 (ちひろさん)  
 記ろく (めぐりさん) (はるまさん) (ゆうまさん)  
 時間 (りまとさん)

##### ②1年生に読み聞かせをする本 (5分)

決め方の方ほう… (せんせいさん) (りまとさん)  
 ※ふせんには、本の名前を書く

##### ③話し合い

20分  
 目的を決める  
 れい「読んで楽しいお話」一みんなで考える

兎塚小3年の目的「1年生が、笑ってくれるお話」  
 読み聞かせの本、決定!!「パンダがころんで…」

ゆうまさん 1年生も、声を合わせて言えるお話 1  
 りまとさん 1年生が、笑ってくれるお話 4  
 はるまさん 1年生が、本を好きになってくれるお話 0  
 めぐりさん 1年生が、もっと本を読みたくなるようなお話 0  
 ちひろさん 1年生が、心がワクワクするようなお話 0

↓読み聞かせする本のこうほ



・レイアウトは自由に配置&変更することができます。

・強調したい文章は色を変えています。

・画像や動画を張り付けられます。



### 学習の目標からずれない話し合い活動をするための支援としての活用

「OneNote」でまとめた読み聞かせをする目的を常に大型モニターに映し出すことで、目的からずれることなく、話し合い活動を行い、1年生に向けて読み聞かせをする本を決定することができました。

<小3 国語科「はんで意見をまとめよう」>

#### ICT活用のポイント

- ・目的からずれることなく話し合うことができていました。
- ・児童の手元がすっきりとした状態で話し合い活動ができたので、話しやすそうでした。
- ・指導者は話し合いの補助者に徹することができました。



モニターを見れば、話し合い活動をするために大切なポイントを確認できます。

児童はモニターを参考にしつつ、KJ法で話し合い活動を行っています。

### 動画撮影をして、発表を上達させる〈話すこと・聞くこと〉

発表を上達させるために、ペアやグループで発表している姿を動画撮影します。自分の発表を客観視できます。事前に、姿勢や目線、声の大きさなどの良い発表にするポイントを指導しておくことで児童同士でアドバイスがしやすくなります。

〈小3 国語科「食べ物のひみつを教えます」〉

#### ICT活用の ポイント

- ・タブレット端末を使って、班員同士で発表の練習を撮影し合い、その動画を実際に見ながら、互いの発表の中で資料の提示や実演の仕方の良さや課題等を伝え合わせると良いです。
- ・動画撮影・動画再生の仕方を事前に練習しておくことで、スムーズに活動ができます。
- ・場所は教室だけでなく、体育館や廊下などに分かれて活動させると他の人の声が入らないので集中して活動できます。

**撮影者**  
集中して友だちの発表を撮影&聞くことができます。



発表練習を撮影する様子（約15秒）

**発表者**  
相手を意識して、良い姿勢&声で発表をすることができます。

### 撮影した動画をもとに、話し合い活動をする

3年生の国語科で「話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選び、**組み立てを考えた話すことができる。**」を目標に学習した。（単元名：わたしの好きな時間をみんなに伝えよう）

時		主な学習活動
1	つかむ	これまでの学習を振り返り、学習の見通しを立てる。
2	取り組む	話題を決めて、話す材料を集める。
3		材料の中から話すことを選んで組み立てる。
4		話す練習をする。【ICTの活用】
5		みんなの前で話す。【ICTの活用】
6	振り返る	単元の学習を振り返る。

#### 【ICTの活用の仕方】

グループに1台タブレットを用意し、録画機能を使い、話す様子を撮影する。撮影した動画をもとに、話し合う。

#### 【実際にICTを活用した利点・効果】

- ・学習活動に対して意欲的に取り組めた。
- ・動画を取ることで、よい緊張感があった。
- ・話した本人も、自分の良さや課題に気づくことが容易にできた。
- ・巻き戻し機能などにより、ピンポイントな学び合い活動ができた。
- ・次時の活動で、みんなの前で話すとき、余裕をもって話す児童が多くいた。

### ICT活用のポイント

授業では最低限の機器操作だけ教え、話し合いに集中できるようにする。また、話し合いの観点を決めておくことで、国語科のねらいからそれないようにする。子どもたち同士、肯定的な声掛けを意識させることでより協働的に学びに向かおうとすることができ



グループで動画を取り合う



動画をもとに良いところ、直すところを話し合う



伝わりにくかった言葉の言い直しなどをみんなで考える

### 作業を分担して、発表資料を作成します


アンケート結果の報告に向けて、役割分担をし、自分の端末で担当する部分のスライドを作ります。データをコピーするなどして共有することが容易であり、協働的な活動の体験にも向いています。資料の作成が済んだら、プレゼンテーションの練習の様子を撮影し、改善に生かすこともできます。

<第4学年 国語：調べたことをほうこくしよう>

#### ICT活用のポイント

自分が何の作業を担当するのか、チーム内で明確にしておくことがポイントになります。文字情報を抑え、イラストや写真などの視覚イメージを活用するように助言することがポイントです。



 授業風景動画（約50秒）

### 分かりやすい発表をサポートします

タブレット端末で作成したデータを電子黒板に投影し、プレゼンテーションを行います。また、発表を聞く友達に対して事前にスライドのデータを配付しておくことも可能です。発表をする側・聞く側の双方にメリットがあり、分かりやすい発表をサポートすることができます。

<第4学年 国語：調べたことをほうこくしよう>

#### ICT活用のポイント

1人1台の自分の端末があるので、紙のノートと同様に安心して準備した原稿を読むことができます。その場で書き込みをしながら、相手を意識した発表もできます。

